

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年8月4日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	江別市	代表者名	市長 三好昇
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	011+-381-1009
担当者役職	課長	担当者氏名	小関高人
住所	067-8674 北海道江別市高砂町6番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	行政の事情に寄り添った状態から課題を一緒に整理してくれたので、無理なく理解が深まった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年7月28日	13時00分	15時00分		120
	派遣形態	支援・助言 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	市職員	2 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	紙媒体の広報誌が情報発信の主体だった時代と比較して、スマートフォンが普及し情報流通スタイルが大きく変わったが、インターネット上では検索されなければ市政情報に触れることはなく、スマホ利用の中で市政情報が得られにくいという現象が起きている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	スマホ最適化、ユーザー最適化をしても、ユーザーから求められていない行政情報を浸透させるには、伝えたい情報を知りたい情報に変換しなければならない。そのためには高度な編集が必用になるが、膨大な情報1つひとつにこれを施すことはできないので、仕組みの中である程度解決できる方策を模索していきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ツールを先に考えるより、「行政情報における情報弱者は誰なのか」を突き詰めていき、そのターゲットのタッチポイントとなるツールとその活用の工夫を考えていくアプローチの方が解決に近くなるのではないか、とのアドバイスを受けディスカッションをした。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	改めてマーケティング的思考に立ち返って考え方を整理することができた。ディスカッションの中で具体的な発案も出たので、検討して取り入れていきたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="radio"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 該当なし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="radio"/> ③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

